

# ひょうご 男女共同参画ニュース



## 平成27年度兵庫県予算案

～男女共同参画社会づくりの推進～

県は2月16日、平成27年度当初予算案を発表しました。一般会計は前年度当初比282億円減の1兆9,220億円となっています。

男女共同参画に関連する予算は、女性たちのチャレンジ支援、互いに支え合う家庭と地域づくり、仕事と生活の両立支援、誰もが健やかに安心して暮らせる環境の整備、次世代への継承で、現在開会中の第326回定例県議会での議決を経て成立します。

### <女性たちのチャレンジ支援>

#### ■(新)ひょうご女性未来応援事業(6,325千円)

様々な分野で活躍する女性や経済団体等と連携・協働し、社会全体の気運醸成を図るとともに、職場における意識改革や女性登用につながる研修等を実施。

#### ■女性の就業サポート事業(18,044千円)

キャリアコンサルタントによる個別相談や職業紹介等を県立男女共同参画センターの女性就業相談室で実施。

#### ■女性就業いきいき応援事業(5,615千円)

出産、育児などの理由で離職した女性の多様な働き方を支援するため、再就業・起業のための講座・セミナーを開催。

#### ■(拡)女性起業家支援事業(31,021千円)

有望なビジネスプランを持ち、県内で起業を目指す女性起業家に助成。

#### ■育児・介護等離職者再就職準備支援事業(10,000千円)

育児、介護等を理由に離職した人が、再就職に必要な知識・スキルを得るため受講した教育訓練の経費の一部を助成。

#### ■中小企業育児・介護等離職者雇用助成事業(75,000千円)

育児、介護等を理由に離職した人を雇用した事業主に助成。

### <互いに支え合う家庭と地域づくり>

#### ■子育て家庭応援テレビ番組「子育て情報ランド」(8,724千円)

若者世代等を対象に、結婚し家庭を持つことのすばらしさや、妊娠・出産適齢期に関して啓発するテレビ番組を制作・放送。

### <仕事と生活の両立支援>

#### ■ひょうご仕事と生活センター事業(164,330千円)

ひょうご仕事と生活センターで、「ワーク・ライフ・バランス」の普及啓発・情報発信事業、相談事業、研修企画・実施事業、実践支援事業を実施。

### <誰もが健やかに安心して暮らせる環境の整備>

#### ■DV防止対策(5,908千円)

関係機関や民間支援団体と連携し、被害者の保護・自立支援を強化。

### <次世代への継承>

#### ■(新)WJターン出会いサポートセンター事業(11,479千円)

「ひょうご出会いサポートセンター」事業の県内在住等の要件を一部緩和するとともに、同センター東京出張所を設置し、県外(主に東京近辺)の企業や大学等に所属する人等にも出会いの場を提供。

(問) 県男女家庭課 078-362-3160

2/16

## お父さん応援フォーラム～男女共同参画社会づくり協定締結企業1108社3団体に～

2月16日、「男女共同参画社会づくり協定」締結式を県のじぎく会館で開催。仕事と家庭の両立などを進めている企業49社と新たに協定を締結し、累計で1108社3団体となりました。

冒頭、四海県子ども局長が、「男性が家事や育児に参画して夫婦が共に家庭を営み、子育てをし、次世代を生み出していくためには、企業・地域・社会が一体となった取組が求められている。」と話し、各企業の代表者一人ひとりに協定書を手渡しました。



続いて行われたお父さん応援フォーラムでは、「ワークライフバランスとイクボス」をテーマに大阪教育大学教育学部准教授の小崎恭弘さんが講演。「男性自らが、ワーク・ライフ・バランスを意識し、仕事だけでなく、自分の人生、家族、子どもを大切にすることが必要。」「イクボス(※)が増えると、男性が育児に参画しやすい環境となり、家族、企業、社会にとって多くのメリットをもたらす。」との自身の経験を交えながらの話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。



(※)イクボスとは、部下やスタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らが仕事と私生活を楽しむことができる上司のこと。

(問) 県男女家庭課 078-362-3160



## イーブン事業報告・トピックス

2/20

### 平成 26 年度ひょうご男女共同参画推進員全県大会を開催

県内各地域や企業・労働組合で活躍する男女共同参画推進員が一堂に会する大会を2月20日に開催。推進員と県内の行政職員約80名が参加しました。

午前の部では、関西大学文学部教授の多賀太さんが「男性にとっての男女共同参画～女性にも男性にも生きやすい社会～」をテーマに講演を行いました。



統計データや男性へのインタビューなどを用いて、社会情勢の変化によって固定的な性別役割分業では社会が立ちいかなくなったことや、仕事と稼ぐことへの圧力から逃れられない男性の心理などについて解説。女性に対する暴力をなくすため

の男性主体の取り組み「ホワイトリボンキャンペーン」も紹介し、「問題解決の鍵は男女共同参画。『稼ぎ主男性』の働き方を標準と見なす職場文化を問い直し、夫婦とも、ほどほどに働き、ほどほどに家事・育児をすることが必要。」と話しました。参加者からは、「男性視点の話は新鮮だった。」などの感想が聞かれました。

午後は、地域で活動する推進員が今年度実施事業を報告。続いて、グループ討議と全体会を行いました。講座の広報・集客の工夫や推進員と行政との連携方策などについて、活発な意見交換が行われました。



(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550

### 男女共同参画推進のための ファシリテーター養成基礎講座

1/29, 2/12

男女共同参画アドバイザー養成塾修了生等を対象に、活動に必要なファシリテーションのスキルや講座運営のノウハウを学ぶ講座を開催しました。

講師の宝楽(ほうらく)陸寛さんは「ファシリテーターは一人ひとりの力を温め、引き出し、共有しながら、共にゴールに向かう進行役です。ファシリテーションは参加者の声を上手に拾い、聴き合う(=学び合う)関係を育む技術です。」と話しました。



参加者は、お互いの考えがイメージできるよう、ホワイトボードに書き出し、議論を深く掘り下げるための問いかけを意識しながら熱心に取り組みました。

(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550

### 働く女性のための ステップ・アップ!セミナー

2/10, 17, 24

働く女性がそれぞれの希望や能力を活かし、次のステップに踏み出すのを応援する連続講座を2月10日、17日、24日に開催。「一歩前に進む“コミュニケーションスキル”」「仕事をスムーズに進める“人間関係力”アップ」「いきいきと働くための“キャリアプラン”」の3つのテーマで、講義や実践的なワークを交えながら働き続けるうえで必要なスキルを学び、これからの働き方について考えました。

「職場で働きづらさを感じる。」「思いをうまく伝えられない。」「キャリアアップしたいが、壁をなかなか打ち破れない。」など悩みを抱えた受講生からは、「日々の業務に役立てたい。」「次へのチャレンジに向けてとても良い刺激になった。」といった前向きな感想が聞かれました。



(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550

## 県立男女共同参画センター・イーブン 公式 Facebook ページ開設

最新情報発信中!

男女共同参画や就業支援(再就職・起業等)に関するセミナー、施設紹介など最新の情報を「いいね!」で逃さず入手できます。たくさんの「いいね!」をお待ちしています。



<https://www.facebook.com/hyogo.even>



※県立男女共同参画センターホームページ(<http://www.hyogo-even.jp/>)からもアクセスできます。

(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550





丹波

みんなで語ろう

篠山市 2/1  
丹波市 2/11

～男女共同参画井戸端会議～

暮らしやすいまちづくりを考えるため、基礎的自治組織である自治会にスポットをあて、自治会長や役員の皆さんが意見交換する「井戸端会議」を丹波地域2市で開催しました。



昨年10月に実施した自治会規約や役員の選出方法などについてのアンケート結果をもとに、小グループで思いを語り合い、続いてその意見を全体で共有。新たな気づきもあった中、今後の活動に活かせる具体的な実践例などの紹介もあり、有意義な会議となりました。

自治会談議での主なテーマは「時代にあった自治会規約に改正を。」「女性役員の選出方法を考えよう。」の2点。「地域が元気になるには女性の力が不可欠。」「役員に女性枠を設けるよう規約に明示することが必要。」などの活発な意見が出されました。

(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550

北播磨

西脇市 2/7

起業するっておもしろい!

～播州織作家 玉木 新雄さんに聞く～

趣味から一念発起してケーキ工房を始めた西脇市在住の蓮池昌美さんをコーディネーターに、対談形式で播州織作家玉木新雄(にいめ)さんから起業にまつわるお話を聞くセミナーを開催しました。

話題は播州織や西脇との出会い、起業にあたっての苦労話や醍醐味など。「自分が決めたことなら言い訳が出来ない。自分がよいと思うことをやり、しんどければやめればよい。命まで取られるわけではない。」などの言葉に、約80名の参加者は熱心に聴き入っていました。



質疑応答は、地方都市を元気にする方策や起業の際の資金調達など多岐にわたり、利益については、「自分が楽しんでいることが大事だが、関わってくれる人たちが幸せでなければならず、そのためには利益を出すのが大前提。」と答えられました。

参加者からは「成功の裏には苦労があったのだと思った。」「『迷ったらとにかくやってみる』という言葉に勇気をもらった。」などの感想が寄せられました。

(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550

但馬

但馬聖人 池田草庵に学ぶ  
～立誠舎誕生秘話と草庵を  
とまぐんたち～

養父市 2/10

立誠舎は、池田草庵による養父市の学問発祥の地です。儒学者池田草庵について学ぶ学習会を開催。前日までの積雪がかなり残る中、45名が参加しました。

講師の山根功暉さん(立誠舎と草庵顕彰会会長)が、立誠舎設立の由来から現代に至るまでの流れや、草庵の生涯、その門下からは日本の近代化に貢献した逸材が多く育ったことなどについて話しました。

京都で頭角を現しつつあった草庵が但馬に帰って漢学塾を開くことを決断したのは、八鹿村庄屋の妻・西村幾世(きせ)の熱意であったことが紹介され、「幾世がいなければ但馬聖人・池田草庵は存在しなかったし、現在の八鹿高校はなかった。当時から女性が大きな役割を果たしていた。」との言葉で講演が締めくくられました。



(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550

◆◆ がんばる企業 ◆◆

- 会社名: メック株式会社(尼崎市)
- 代表者: 代表取締役 前田 和夫
- 事業内容: 製造業
- 従業員数: 185人
- URL: <http://www.mec-co.com/>

電子基板・部品製造用の薬品を開発・製造するメック株式会社は、「仕事を楽しむ」を社是とし、男女差のない平等で働きやすい職場環境づくりに努めています。



創業以来、女性比率が高い同社は、育児休業制度や子どもが小学生になるまでの子育て休暇(年5日)など、働きやすい制度を相次いで整備し、従業員意識調査による実態把握と職場改善の推進に取り組んでいます。

管理本部経営管理センターの竹田真由美さんは、女性初の遠隔地転勤を経験。「不安だったが、会社からの評価にやりがいを感じ、家族からの応援が支えとなり、転勤の決断ができた。」と話します。社員の平均勤続年数も男女の差がほとんどなく、働きやすい環境であることがうかがえます。

さらに、昨年6月には、中川登志子さんが取締役に昇格し、初の女性役員が誕生。技術開発センター長にも女性が就くなど、女性管理職の登用も積極的に進めています。

(問) 県男女家庭課 078-362-3160



## 参加者募集中の講座・お知らせ

### ★ネットショップづくりセミナー ～簡単！すぐできる！ネットショップ の作り方を学ぼう～★

特別なインターネットやパソコンの知識がなくても簡単にネットショップがつくれるツールを使った開業シミュレーションを行うほか、オープン後の集客についても考えるセミナーです。

#### ◆開催日時と内容

(1日目) 3月13日(金) 13:30～15:30  
つくろう！私のネットショップ

(2日目) 3月20日(金) 13:30～15:30  
ネットショップに人を集めよう

◆会場 県立男女共同参画センター セミナー室

◆講師 宇田 名保美 さん(中小企業診断士、1級販売士、宇田マネジメント株式会社代表)

◆対象 ネットショップをこれから始めようと考えている方、開始して間もない方等

◆定員 20名(先着順) ◆受講料 無料

◆一時保育 1歳半～就学前まで(定員6名  
・無料・要予約)

#### ◆申込方法

- ・チラシ裏面の申込書に必要事項を記入し、FAXまたは郵送で県立男女共同参画センターまで。
- ・チラシ表面掲載のQRコードを使ってスマートフォンや携帯電話から又は県立男女共同参画センターホームページから。

### ★学ぼう！怒りのコントロール ～イライラ子育てにバイバイ～★

子育て中のお母さんは、たくさんの責任と、家事や育児で毎日が大変。ストレスや怒りがたまります。でも「当たり前」とあきらめないで。

フリートークでは、トゲトゲした気持ちをおしゃべりで発散。解説と講義では、怒りの原因やコントロール術をたのしく学びます。“育児のイライラ”にさよならしたい方、ぜひご参加ください！

◆日時 3月26日(木) 13:00～15:00

◆会場 県立男女共同参画センター セミナー室

◆講師 梶原 由美 さん(こころサポートあおいくま代表、精神保健福祉士、産業カウンセラー、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定講師)

◆内容 フリートーク、ミニ解説「『脱！イライラ』カギは男女共同参画」、講義&ワーク

◆対象 未就学児を子育て中の女性

◆定員 30名(先着順) ◆受講料 無料

◆一時保育 1歳半～就学前まで(定員13名・無料  
・要予約)

◆申込方法 チラシ裏面の申込書に必要事項を記入し、FAX・郵送、電話にて県立男女共同参画センターまで。

※講座の詳細は、下記までお問い合わせください。



## 兵庫県立男女共同参画センター・イーブンの相談窓口



種類	電話番号		実施日時	
女性のためのなやみ相談 (女性カウンセラー)	電話相談(直通)	078-360-8551	月～土曜日	9:30～12:00 13:00～16:30
	面接相談(要予約)	078-360-8554	月～金曜日 土曜日	11:00～18:40 9:20～16:50
法律相談(女性弁護士)	面接相談のみ ※なやみ相談(面接)後に予約		毎月 第2火曜日(原則)	
男性のための相談(男性臨床心理士)	電話相談	078-360-8553	毎月第1・3火曜日	17:00～19:00
不妊専門総合相談(助産師等)	電話相談(直通)	078-360-1388	毎月第1・3土曜日	10:00～16:00
	面接相談(要予約)	078-362-3250	毎月第2土曜日・第4水曜日	14:00～17:00
女性のためのチャレンジ相談 (女性社会保険労務士等)	電話相談・面接相談 (電話・面接とも要予約)	078-360-8554	毎月第1～4木曜日	10:00～13:00
イーブン女性就業相談室 ハローワーク相談窓口	問い合わせ先 (電話相談不可)	078-360-8260	月～金曜日	9:00～17:00
情報相談(情報アドバイザー) (学習や調べものなどのご相談に)	電話相談(直通)	078-360-8557	月～土曜日	9:00～17:00

### ひょうご男女共同参画ニュース

平成27(2015)年3月号(Vol. 48) ※毎月1日発行

【編集・発行】 兵庫県立男女共同参画センター・イーブン、兵庫県男女家庭課

【問い合わせ】 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー7階 兵庫県立男女共同参画センター  
TEL:078-360-8550 FAX:078-360-8558

【開館時間】 月～金曜日 9:00～19:00/土曜日 9:00～17:00 HP: <http://www.hyogo-even.jp/>

【休館日】 日曜日、祝日、国民の休日、年末年始(12/28～1/4)

このニュースは、関係機関・団体や希望者に配信させていただくとともに、男女共同参画推進員がお配りさせていただいています。配信を希望される方は、上記にご連絡ください。